



ひょっこりひょうたん塾 活動の記録

ひょっこりひょうたん塾は岩手県大槌町において、町民主体による住み良いまちづくりを進めるため、文化芸術を活用したソフト面の復興を考え、実践していくための人材育成事業です。



大槌町にいま求められているまちの未来とは？
コミュニティの活性化とは？
町民と町外の支援者との理想の連携とは？

地元産業を通じたブランドの構築、拠点やイベントを通じたにぎわいづくり、まちの記録の活用、福祉とまちづくりの連携など、ふるさと教育、情報発信など…、様々な活動に取り組む団体がまず、震災から2年を経る目前に各々の成果や課題、これからのことを語り合う、交わる場を作り、その現状をありのままに、社会に発信するためのフォーラムを開催します。フォーラム会場では、美術家 きむらとしろうじんさんによるお茶会、地元ミュージシャンによるライブ、大槌のまちの映像上映ブースや活動団体ブースなど、様々なコーナーも展開！また大槌の現状を広く伝えるためのUstream配信も行います。ぜひ、この機会を町内外、様々な方々に生かしていただければ幸いです。

当日スケジュール TimeSchedule

〔1部〕13:00-14:25

◆開催～碓川町長挨拶

◆「ひょっこりひょうたん塾のふりかえり」元持幸子(本塾 事務局長)

「まずは事例を知ろう ～まちのこれからのために必要なこと～」

スピーカー団体(50音順)：

- ・一般社団法人 おらが大槌夢広場(<http://www.oraga-otsuchi.jp/>)
- ・大槌商工会(<http://www.shokokai.com/otsuchi/>)
- ・大槌町郷土芸能保存団体連合会
- ・社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会(<http://www.otsuchi-shakyo.jp/>)
- ・特定非営利活動法人 @リアスNPOサポートセンター(<http://rias-iwate.net/>)
- ・特定非営利活動法人 吉里吉里国(<http://kirikirikoku.main.jp/>)
- ・旅館 宝来館(<http://houraikan.jp/>)

ファシリテーター：アサダワタル(事編kotoami代表／本塾 ゼミ監修担当)

コメンテーター：藤浩志(美術家、十和田市現代美術館副館長／本塾ゼミ第5回ゲスト講師)

(休憩&転換)

※地元ミュージシャンによるライブ&きむらとしろうじんさんによるお茶会あり！

〔2部〕14:40-15:30

話題提供「阪神淡路大震災から始まった震災と文化の現場」
& 大槌のこれからへ向けた対談

山口洋典(立命館大学准教授・立命館災害復興支援室チーフディレクター)
× 藤浩志(美術家、十和田市現代美術館副館長／本塾ゼミ第5回ゲスト講師)

フロアー参加者との対話(30分)

「お互いの課題とこれからを言葉にし、交換しよう」

ファシリテーター：山口洋典

◆閉会～地元ミュージシャンによるクロージングライブあり！

※会場の周辺では、きむらとしろうじんさんによるお茶会、地元ミュージシャンによるライブ、大槌のまちの映像上映ブースや活動団体ブースなど、様々なコーナーも展開！大槌高校生によるまちづくり模造紙の展示も！
※会場の様子はUstream放送にて発信いたします。

Art Support Tohoku-Tokyo

(東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業)



大槌町で
“まじくる”こと
～お互いのいまを知り、
これからの大槌の
まちの未来を考える～

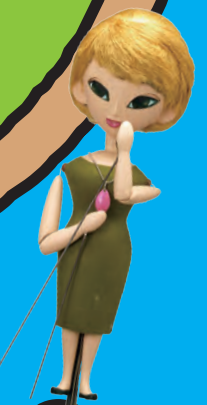
2012年度

ひょっこり
ひょうたん塾

HYOKKORI HYOTAN JUKU

まとめフォーラム

参加無料
&
申込不要



2013年2月2日土
13:00(12時開場)～15:30 終了

大槌町公民館大会議室
岩手県上閉伊郡大槌町小槌第32地割126

主催

ひょっこりひょうたん塾、大槌町、東京都、
東京文化発信プロジェクト室
(公益財団法人東京都歴史文化財団)、
特定非営利活動法人いわて連携復興センター

文化芸術まちづくりゼミ

外部講師と現地ゲストによる座学 全5回

年6回、全国各地で活動する芸術家やコミュニティデザイナー、芸術とまちづくりの研究や実践を行う方を講師として招へいし、まちづくりを学ぶ塾を開講しました。町民はもちろん、全国より受講生を募集。大槌町を知ってもらうためのプログラムとして、大槌の魅力を見直す「大槌学」や、地元団体との連携による復興ツーリズムなどを組み込み、講師を含めた外部の方にも収穫の多い充実した講座を展開しました。



みんなで交わる図書館でまちが変わる！
—小布施から学ぶ大槌の未来図—

【講師】花井 裕一郎 氏
小布施町立図書館「まちとしょテラソ」館長
【現地ゲスト】東野 真和 氏 朝日新聞記者
◎安渡小学校 体育館

町民が中心となって運営されている小布施町立図書館「まちとしょテラソ」。理念は「交流と創造を楽しむ文化の拠点」です。館長の花井氏と、大槌町の現状をよく知る東野氏のお話から、大槌に集まる人々と町民の関わり方について、参加者も含めて議論をしました。2日目には復興ツーリズムを行い、大槌の現状に生で触れながら今後のまちについて語り合いました。



第1回
9・10日
6月

人が交わるイベントからまちづくりへ
—「おおつちありがとうロックフェス」や各地事例から—

【講師】手塚 さや香 氏 毎日新聞東京本社学芸部記者
【現地ゲスト】大槌STANDING STANDING
◎赤浜小学校 体育館
各地のアートプロジェクトを取材してきた手塚さんの事例紹介をふまえ、大槌SDSD主催の「おおつちありがとうロックフェス」についての意見交換を行いました。自発的な活動を展開した大槌SDSDに対して、町民からも温かい意見が出ました。フィールドワークでは、吉里吉里のお祭り見学の後、白澤伝承館の東梅英夫さんのレクチャーを聞き、大槌の伝統芸能に触れました。

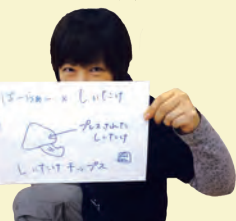
第2回
25・26日
8月



世界に発信できる大槌ブランドを考える

【講師】太刀川 英輔 氏 NOSIGNER
【現地ゲスト】よってんたんせえ、ど真ん中大槌、大槌北小きりり商店街、花農家
◎[前半]上町ふれあいセンター
[後半]城山体育館トレーニングセンター
「大槌魅力発見ツアー」と題し、鮮魚店や飲食店、商工会事務所などを訪れ、町民から大槌の魅力を聞き出すワークを行いました。集めた魅力を組み合わせて商品として提案する「大槌ブランディング大喜利」でアイデアを出し、それを商品化に向けてどんどん具体化しました。大槌の魅力が詰まった大槌ブランドを町の人が考える、楽しく濃密なワークショップでした。

第3回
15・16日
9月



第4回
27・28日
10月



アートで 人が 街が 動き出すということ

【講師】藤 浩志 氏
美術家、十和田市現代美術館副館長
◎シーサイドタウン マスト2階 マストホール
「かえっこシステム」など、いろんな仕組みや風景を作ってきた藤さん。これまで行ってきた数々のデモンストレーションの話を聞いて、参加者からも大槌について思うところが次々とあがり、活発に意見が交換されました。まず「やってみたいこと」をみんなと集ってやってみること。そこから芸術文化を活用したまちづくりに繋がるのではないのでしょうか。

第5回
15・16日
12月

タイムラインTimeline

2012年.....6月.....7月.....8月.....9月.....10月.....11月.....12月.....



フィールドワーク演習

きむらとしろうじんじんの「野点」

「文化芸術まちづくりゼミ」のような座学に加え、町内外問わず文化芸術活動で活躍する方を講師として招へいし、大槌町で起こる事業に塾生が実践的に関わることができるプログラム。今年はアーティスト・きむらとしろうじんじん氏を迎え、「野点」を開催。秋の本番に向けて、魅力的な開催場所を探すお散歩会や準備、当日の運営を塾生が中心となって行いました。

6月
3・4日
プレセミナー



7月
15・16日
第1クール

大槌の人、集まれ！
思い出の風景、未来の風景を語ろう
3日土・4日日
◎9:00～10:30 説明会
◎10:00～15:30 散歩会
「まち」をみる・あるく
◎15:30～20:00 茶話会
「まち」のイメージを語り合う
◎20:00～21:00 夜塾
「谷中のおかって」活動紹介



大槌を知ろう！開催場所を決めよう
15日土
◎9:00～10:30 説明会
◎10:00～15:30 散歩会①
「まち」をみる・あるく
◎15:30～20:00 企画会議①
候補地のピックアップ
◎20:00～21:00 夜塾
東日本大震災被災地における芸術活動について～東京都による芸術文化を活用した被災地支援活動を通して～
16日日
◎9:00～10:30 説明会
◎10:00～15:30 散歩会②
候補地の確認
◎15:30～20:00 企画会議②
候補地の決定



本番に向けての準備！
◎北小きりり商店街
18日日
◎10:00～12:00 運営会議①
開催地の決定
◎13:00～15:00 現地確認
本番をイメージする
◎15:00～17:00 運営会議②
準備作業の割り振り
◎20:00～21:00 自主ゼミ
19日日
◎10:00～17:00 運営会議③
広報、サイン計画など、準備開始！

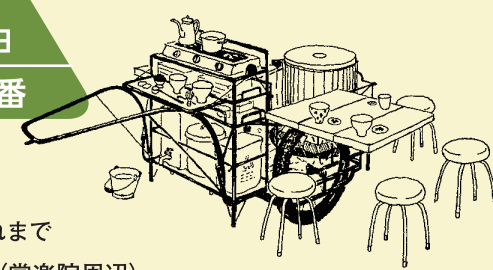


住民のみなさんとお茶会の開催地を探しました

9月
26日
体験説明会

9月27日
10月3・7日
「野点」本番

「野点」本番
◎各11時頃～日暮れまで
9月29日日 ◎赤浜（常楽院周辺）
「ひょうたん島を、語りたい。
～海を眺めながら～」
10月3日日 ◎桜木町（児童公園）
「桜木町で、逢いましょう。
～公園カフェ～」
10月7日日 ◎町方（大槌駅前広場）
「駅から湧水、徒歩5分。
～カフェや音楽やパフォーマンス～」



アーティスト・きむらとしろうじんじんの「野点」は、摩訶不思議ないで立ちの茶人（？）がまちに出没する、移動式「陶芸お抹茶カフェ」。大槌の秋空の下、色とりどりのお茶碗に囲まれて、おしゃべりしたり、お茶を飲んだり……。お茶会の姿は、風景やかかわる人によって変幻自在です。大槌に暮らす人も、まだこのまちを知らない人も、ともにまちをめぐりながら野点の風景を語りあい、みんなで準備を進め、大槌らしい「野点」を演出しました。

